

II 衛生教育・衛生統計

Ⅱ 衛生教育・衛生統計

1. 衛生教育

公衆衛生の向上は、区民の理解と協力がなければ望めないものである。区民一人ひとりが衛生に対する関心を高め、知識を深めることによって一層の効果をあげることができる。

保健所ではあらゆる機会をとらえ、家庭や地域社会における一般区民及び学校や職場に属する集団を対象とした衛生教育を行っている。

(1) 衛生教育

区民、町会及び事業所等に対して講習会、講演会等により保健衛生に対する関心を高めると共に、地域の保健衛生活動の促進を図っている。

また、関係業者等に対しても講習会等を実施し、保健衛生、環境衛生に対する意識の啓発を行ない、食品衛生、環境衛生の促進を図っている。

衛生教育活動

平成23年4月～24年3月

区 分	方 法	対 象	回 数	延人数
感染症	講習会、講演会、座談会	区 民	20	1,343
精 神	講演会、座談会	区 民	5	160
難 病	講演会、講習会	区 民	12	169
母 子	講習会	区 民	156	6,561
成人・高齢者	講習会、講演会	区 民	4	60
栄養・健康増進	講演会、実習、展示	区民、関係業者、 地域団体	50	1,025
歯 科	講習会	区 民	83	2,528
医務・薬事	講習会	関係業者	1	29
食 品	講習会、実習、実験、 展示	区民、関係業者	89	3,316
環 境	講習会、展示、講評会	関係業者、区民	10	540
公 害	講習会、座談、講演会、 教室	区 民	10	261
その他	講習会、座談、講演会	区 民	0	0
合 計			440	15,992

* 地域保健・健康増進事業報告（平成23年度分）による。

(2) 実習生の教育指導

医学生、看護学生及び歯科衛生士、栄養士を目指す学生等に対して、保健所実習を通して、保健衛生行政の実態の把握と後進の育成を目的に、実習生の指導を行なっている。

平成23年4月～24年3月

対 象 者	人 数
保健師、看護師学生、助産師	31人
栄 養 士	15人
合 計	46人

(3) 臨床研修医の受け入れ

研修医が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、保健所の役割を理解し地域保健、公衆衛生活動に関する基本的態度、考え方を身に付けることを目的に臨床研修病院から研修医を受け入れている。

研修期間 研修医1名につき、1ヶ月以内
研修人数 2名

(4) 広報活動

保健所の事業案内や衛生知識を広報「たいとう」や区のホームページに掲載して周知を図っている。

また、随時、各種パンフレット、リーフレット等を広く配布し、公衆衛生活動の一助としている。

2 衛 生 統 計

衛生統計とは、人口集団の健康状態と、これに影響を及ぼす一切の諸因子との関連において、事実を把握し、公衆衛生施策の企画、運営、評価等に資するための統計であり、公衆衛生の進路を示す統計でもある。

地域住民の環境を向上させ、生活を快適に、そしていつまでも健康でいられるよう、保健衛生の事業を実施していくためには、現状をよく見極めて、さまざまな統計を作成し、衛生行政に役立てていかなければならない。

(1) 人口動態統計

人口の量的、質的变化を常時正確に把握するため、出生、死亡、死産、婚姻、及び離婚の届出をもとにして作成される統計で、人口動態の現象を把握することができる。

ア 出 生

出生率は、全国及び東京都と比較すると低く、22年度よりも減少している。

出生順位別、母の年齢階層別の出生数をみると、第1児は30歳から34歳までがもっとも多く、次いで、25歳から29歳までである。第2児は30歳から34歳まで、35歳から39歳までの順となっている。さらに、第3児は35歳から39歳まで、30歳から34歳までの順になっている。

出生時の体重は、男児は3,000グラムから3,500グラム未満が多く、女児は2,501グラムから3,000グラム未満が多い。

イ 死 亡

死亡原因の上位を占めているのは、生活習慣病といわれる悪性新生物、心疾患、脳血管疾患で、3死因による死亡が全体の53.6%を占めている。

ウ 乳 児 死 亡

生後1年未満の死亡を乳児死亡、生後4週間未満の死亡を新生児死亡、生後1週間未満の死亡を早期新生児死亡という。

エ 周産期死亡

周産期死亡とは、妊娠満22週以後の死産に、生後1週間未満の早期新生児死亡を加えたものをいう。ともに母体の健康状態に影響を与えるので、母子衛生上重要な指標と考えられている。

オ 死 産

妊娠満12週以後の死児の出産をいい、死児とは、出産後において、心臓の動き及び呼吸のいずれも認めないものをいう。

人工的処置(薬物的処置のみの場合を含む)を加えていないものを自然死産という。また、人工的処置を加えたことにより死産に至った人工死産には法の規定する人工中絶理由による場合(母体保護法によるもの)と、母体の生命を救うための緊急避難の場合等(母体保護法によらないもの)がある。

* 死因分類は、平成7年1月からWHOが定めた国際疾病分類(第10回修正)を基準とした。

(2) 地域保健・健康増進事業報告

地域住民の健康の保持及び増進を目的として、地域の特性に応じた保健施策の展開等を実施主体ごとに把握することにより、地域保健対策の効率・効果的な推進のための基礎資料を得る。

(3) 食中毒統計

食中毒患者の発生状況を的確に把握し、複雑な発生状況を解明するため、系統的な調査を行い、広く衛生行政、特に食品衛生対策の基礎的資料を得る。

(4) 医療施設(動態・静態)調査

医療施設の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能等を把握し、医療行政の基礎資料を得る。毎年実施される動態調査と、3年周期で行う静態調査があり、平成23年は動態調査、静態調査共に実施。

(5) 患者調査

病院及び診療所を利用する患者について、その傷病状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得る。3年に1回実施(前回は平成20年実施)

(6) 受療行動調査

医療施設を利用する患者について、その受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査し、医療に対する認識行動を明らかにする。厚生労働省から抽出された該当施設があったときのみ実施。

人口動態総覧年次推移

(平成 20～22 年は確定数、23 年は概数)

区 分	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
出 生	1,214	1,185	1,336	1,308
低体重児	130	120	141	133
死 亡	1,786	1,790	1,898	1,891
乳児死亡	4	1	3	1
周産期死亡	10	5	3	6
妊娠満 22 週以後の死産	10	4	2	6
早期新生児死亡	0	1	1	0
死 産	45	40	37	43
自然死産	21	14	16	21
人工死産	24	26	21	22
婚 姻	1,363	1,561	1,579	1,528
離 婚	459	446	457	398
自 然 増 加	△572	△605	△562	△583

《比率の計算式》

$$\text{出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{死亡率} = \frac{\text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児(生後1年未満)死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児(生後4週未満)死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間の妊娠満22週以後の死産数} + \text{年間早期新生児(生後1週未満)死亡数}}{\text{年間の妊娠満22週以後の死産数} + \text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{年間死産数}}{\text{年間出生数} + \text{年間死産数}} \times 1,000$$

注) 死産数
= 自然死産 + 人工死産

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{年間婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{年間離婚届出件数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

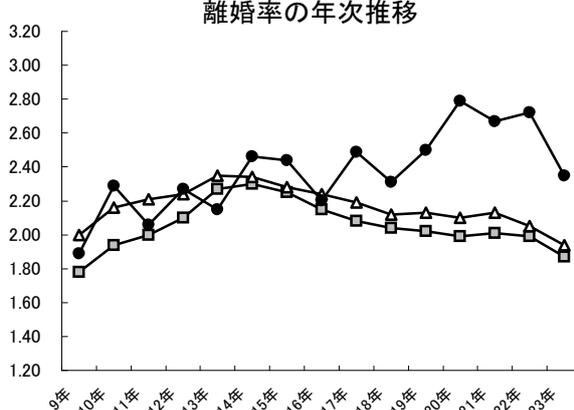
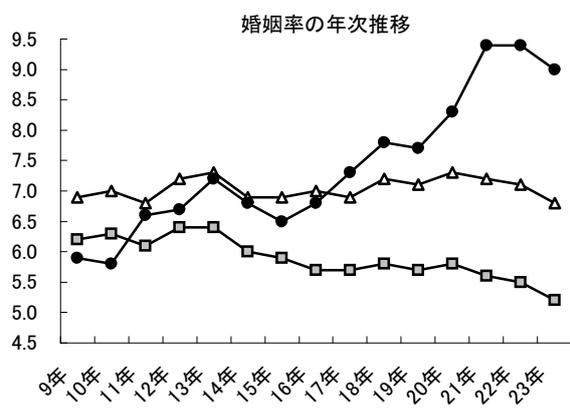
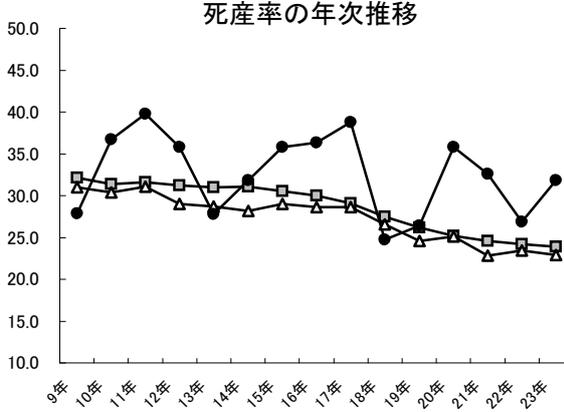
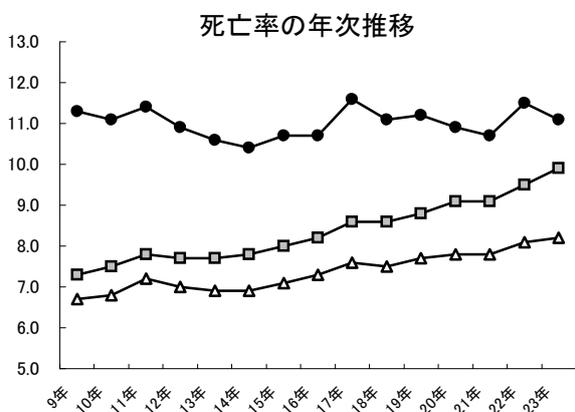
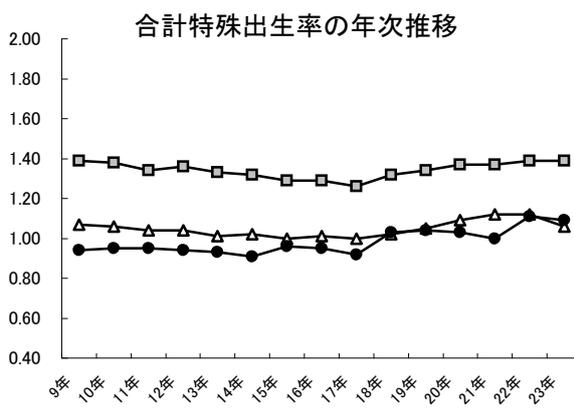
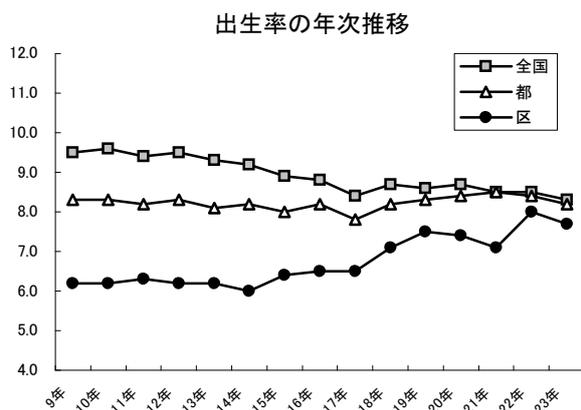
$$\text{自然増加率} = \frac{\text{自然増加数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

注) 自然増加数
= 年間出生数 - 年間死亡数

合計特殊出生率 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の子供の数

(平成20～22年は確定数、23年は概数)

区分	平成20年			平成21年			平成22年			平成23年		
	区	都	国	区	都	国	区	都	国	区	都	国
出生率	7.4	8.4	8.7	7.1	8.5	8.5	8.0	8.4	8.5	7.7	8.2	8.3
死亡率	10.9	7.8	9.1	10.7	7.8	9.1	11.5	8.1	9.5	11.1	8.2	9.9
死産率	35.8	25.0	25.2	32.6	22.8	24.6	26.9	23.4	24.2	31.8	22.9	23.9
婚姻率	8.3	7.3	5.8	9.4	7.2	5.6	9.4	7.1	5.5	9.0	6.8	5.2
離婚率	2.79	2.10	1.99	2.67	2.13	2.01	2.72	2.05	1.99	2.35	1.94	1.87
合計特殊出生率	1.03	1.09	1.37	1.00	1.12	1.37	1.11	1.12	1.39	1.09	1.06	1.39



母の年齢階層別出生数

平成23年1月～12月(概数)

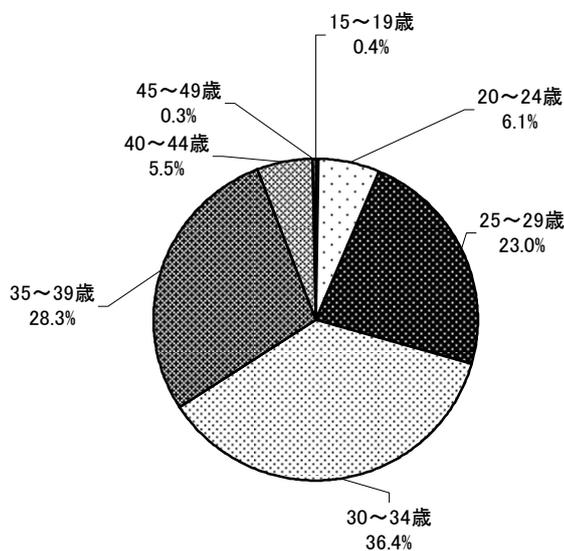
母の年齢階層	総数	第1児	第2児	第3児	第4児	第5児	第6児	第7児以上	不詳
総数	1308	905	304	82	15	2	-	-	-
15歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	5	5	-	-	-	-	-	-	-
20～24歳	80	62	15	2	1	-	-	-	
25～29歳	301	238	51	9	2	1	-	-	
30～34歳	476	336	110	26	4	-	-	-	
35～39歳	370	228	102	34	5	1	-	-	
40～44歳	72	34	24	11	3	-	-	-	
45～49歳	4	2	2	-	-	-	-	-	
50歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	
不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	

体重別出生数

平成23年1月～12月(概数)

区分	男	女	計
総数	668	640	1,308
1,000g未満	1	1	2
1,000～1,499g	2	-	2
1,500～1,999g	11	9	20
2,000～2,499g	50	59	109
2,500g	-	-	-
2,501～2,999g	238	287	525
3,000～3,499g	272	236	508
3,500～3,999g	84	45	129
4,000～4,499g	9	3	12
4,500～4,999g	1	-	1
5,000g以上	-	-	-
体重不詳	-	-	-
2,500g未満	64	69	133
2,500g以上	604	571	1,175

平成23年 母の年齢階層別出生割合



年齢階層別・主要死因分類(選択死因分類)

区 分	総数	男	女	0歳		1歳～4歳		5歳～9歳	
				男	女	男	女	男	女
総 数	1,891	1,054	837	—	1	1	—	—	—
結 核	6	4	2	—	—	—	—	—	—
悪 性 新 生 物	574	344	230	—	—	—	—	—	—
再掲	食 道	23	17	6	—	—	—	—	—
	胃	77	47	30	—	—	—	—	—
	結 腸	60	37	23	—	—	—	—	—
	直腸S状結腸移行部及び直腸	42	29	13	—	—	—	—	—
	肝及び肝内胆管	61	40	21	—	—	—	—	—
	胆のう及びその他の胆道	27	15	12	—	—	—	—	—
	膵	31	17	14	—	—	—	—	—
	気管、気管支及び肺	107	70	37	—	—	—	—	—
	乳 房	24	—	24	—	—	—	—	—
	子 宮	10	—	10	—	—	—	—	—
	白 血 病	7	4	3	—	—	—	—	—
糖 尿 病	25	15	10	—	—	—	—	—	
高 血 圧 性 疾 患	14	8	6	—	—	—	—	—	
心 疾 患	275	145	130	—	—	—	—	—	
再掲	急 性 心 筋 梗 塞	36	20	16	—	—	—	—	—
	そ の 他 の 虚 血 性 心 疾 患	117	69	48	—	—	—	—	—
	不 整 脈 及 び 伝 導 障 害	23	11	12	—	—	—	—	—
	心 不 全	69	28	41	—	—	—	—	—
脳 血 管 疾 患	165	89	76	—	—	—	—	—	
再掲	くも膜下出血	14	7	7	—	—	—	—	—
	脳内出血	48	32	16	—	—	—	—	—
	脳 梗 塞	103	50	53	—	—	—	—	—
大動脈瘤及び解離	28	15	13	—	—	—	—	—	
肺 炎	172	99	73	—	—	—	—	—	
慢性閉塞性肺疾患	31	25	6	—	—	—	—	—	
喘 息	2	1	1	—	—	—	—	—	
肝 疾 患	45	36	9	—	—	—	—	—	
腎 不 全	33	11	22	—	—	—	—	—	
老 衰	92	20	72	—	—	—	—	—	
不 慮 の 事 故	41	25	16	—	—	—	—	—	
再掲	交 通 事 故	6	5	1	—	—	—	—	—
自 殺	39	33	6	—	—	—	—	—	
そ の 他 の 全 死 因	349	184	165	—	1	1	—	—	

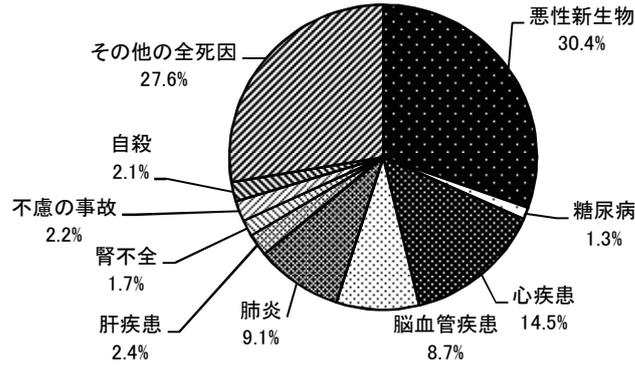
年齢階層別・主要死因分類(選択死因分類)

区 分		45歳～49歳		50歳～54歳		55歳～59歳		60歳～64歳	
		男	女	男	女	男	女	男	女
総 数		15	8	27	11	56	14	116	32
結 核		—	—	1	—	—	—	—	—
悪 性 新 生 物		5	3	6	6	19	9	52	23
再掲	食 道	—	—	1	—	1	—	4	—
	胃	—	—	1	—	1	—	7	2
	結 腸	—	—	—	1	4	3	5	2
	直腸S状結腸移行部及び直腸	—	—	—	—	3	—	4	1
	肝及び肝内胆管	1	1	3	—	3	—	9	1
	胆のう及びその他の胆道	—	—	—	—	—	—	3	1
	膵	—	—	—	1	—	—	3	2
	気管、気管支及び肺	2	—	—	1	4	1	7	3
	乳 房	—	—	—	1	—	2	—	5
	子 宮	—	1	—	2	—	—	—	1
白 血 病	—	—	—	—	—	—	—	1	—
糖 尿 病		—	—	—	—	1	—	—	—
高 血 圧 性 疾 患		—	—	1	—	—	—	2	—
心 疾 患		—	—	1	—	8	—	12	1
再掲	急 性 心 筋 梗 塞	—	—	—	—	—	—	2	—
	そ の 他 の 虚 血 性 心 疾 患	—	—	1	—	3	—	4	1
	不 整 脈 及 び 伝 導 障 害	—	—	—	—	1	—	—	—
	心 不 全	—	—	—	—	2	—	3	—
脳 血 管 疾 患		3	1	5	2	3	1	3	1
再掲	くも膜下出血	—	1	1	1	—	1	—	—
	脳 内 出 血	3	—	4	1	2	—	3	—
	脳 梗 塞	—	—	—	—	1	—	—	1
大動脈瘤及び解離		—	—	1	—	2	—	3	—
肺 炎		—	—	1	—	—	—	6	—
慢性閉塞性肺疾患		—	—	—	—	—	—	1	—
喘 息		—	—	—	—	—	—	—	—
肝 疾 患		1	—	3	1	4	—	9	1
腎 不 全		—	—	—	—	2	—	1	—
老 衰		—	—	—	—	—	—	—	—
不 慮 の 事 故		—	—	2	—	1	—	4	2
再掲	交 通 事 故	—	—	1	—	—	—	1	—
自 殺		2	1	1	1	6	2	5	—
そ の 他 の 全 死 因		4	3	5	1	10	2	18	4

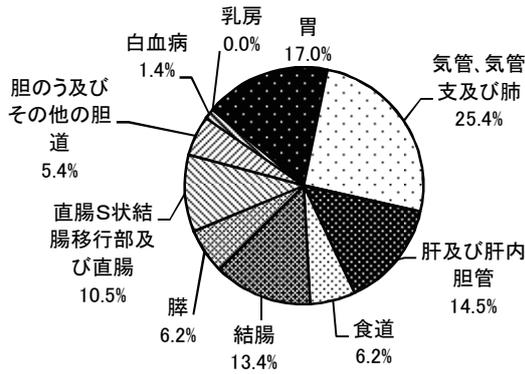
平成23年1月～12月(概数)

65歳～69歳		70歳～74歳		75歳～79歳		80歳～84歳		85歳以上		年齢不詳	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
121	33	140	51	182	89	153	129	215	456	—	—
—	—	2	—	1	—	—	—	—	2	—	—
45	21	51	25	74	43	42	29	46	66	—	—
3	1	6	1	2	2	—	2	—	—	—	—
11	1	8	6	8	6	6	4	4	11	—	—
4	—	3	3	10	5	2	2	9	7	—	—
5	1	4	1	6	3	3	1	4	6	—	—
3	2	5	2	9	8	4	3	3	4	—	—
1	—	2	—	3	2	3	3	3	6	—	—
2	3	2	2	7	—	2	2	—	4	—	—
8	3	10	3	14	8	13	7	12	11	—	—
—	6	—	3	—	1	—	2	—	4	—	—
—	—	—	—	—	3	—	1	—	1	—	—
—	—	—	—	1	—	1	—	—	2	—	—
3	2	3	1	4	1	2	2	2	4	—	—
—	—	1	—	1	—	3	2	—	4	—	—
17	3	17	6	20	12	27	23	38	85	—	—
2	—	2	1	3	2	4	1	7	12	—	—
10	3	11	5	10	5	15	12	13	22	—	—
1	—	—	—	2	—	3	4	3	8	—	—
1	—	4	—	2	2	3	4	11	35	—	—
9	—	10	1	19	8	12	11	23	51	—	—
1	—	—	1	1	—	2	—	2	3	—	—
3	—	4	—	4	4	4	3	4	8	—	—
5	—	6	—	14	4	6	8	17	40	—	—
—	1	2	3	—	—	2	2	5	7	—	—
8	1	11	4	21	5	19	14	33	49	—	—
4	—	2	—	4	1	5	—	9	5	—	—
—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—
8	—	4	2	3	—	2	4	1	1	—	—
1	1	2	—	3	4	—	5	2	12	—	—
—	—	1	1	1	—	1	3	17	68	—	—
2	—	4	—	3	3	4	4	4	6	—	—
—	—	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—
6	—	1	—	—	—	1	—	1	—	—	—
18	4	29	8	27	12	33	30	34	95	—	—

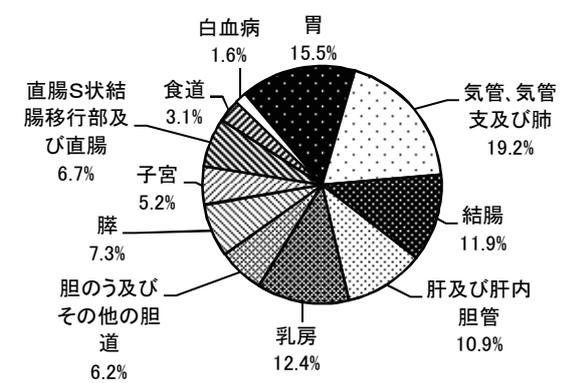
平成23年 主要死因の割合



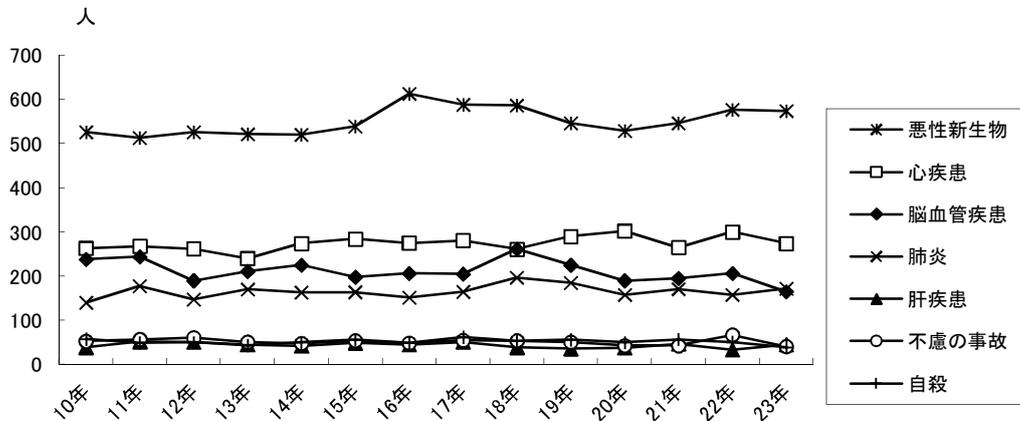
平成23年 悪性新生物の部位割合 -男-



平成23年 悪性新生物の部位割合 -女-



主要死因の年次推移



平成23年
年代別主要死因順位

	第1位	第2位	第3位
0～19歳	その他の全死因	自殺	—
20～29歳	自殺	心疾患	悪性新生物
30～39歳	悪性新生物・自殺	心疾患・不慮の事故	脳血管疾患
40～49歳	悪性新生物	自殺	脳血管疾患
50～59歳	悪性新生物	脳血管疾患	自殺
60～69歳	悪性新生物	心疾患	肝疾患
70～79歳	悪性新生物	心疾患	肺炎
80歳以上	悪性新生物	心疾患	肺炎

年齢階層別死産数

平成23年1月～12月(概数)

母の年齢階層	総数	自然	人工
総 数	44	22	22
15歳未満	1	-	1
15～19歳	1	-	1
20～24歳	9	4	5
25～29歳	5	1	4
30～34歳	14	9	5
35～39歳	9	4	5
40～44歳	5	4	1
45～49歳	-	-	-
50歳以上	-	-	-

死産原因分類(基本分類)

死産の原因		総 数	児 側 病 態											そ の 他	人 工 死 産							
			周産期に発生した病態	妊 娠 期 間 及 び 胎 児 発 育 に 関 する 障 害	出 生 時 仮 死	吸 器 病 態	胎 児 及 び 新 生 児 の 呼 吸	特 異 的 な 感 染 症	新 生 児 及 び 周 産 期 に お け る 病 態	そ の 他	体 異 常	先 天 奇 形 ・ 変 形 及 び 染 色 体 異 常	神 経 系 の 先 天 奇 形			循 環 器 系 の 先 天 奇 形	消 化 器 系 の 先 天 奇 形	び 変 形	そ の 他 の 先 天 奇 形 及 び 変 形	さ れ な い も の 染 色 体 異 常 他 に 分 類 さ れ な い も の	そ の 他	
																						そ の 他
総	数	44	22	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
母 側	総	数	22	22	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然	現在の妊娠とは無関係の場合もありうる母体の病態	7	7	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	死	母体の妊娠合併症	5	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	産	胎盤、臍帯及び卵膜の合併症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他の分娩合併症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		胎盤又は母乳を介して受けた有害な影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		病態の記載がないもの	10	10	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病 態	総	数	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
	人工	現在の妊娠とは無関係の場合もありうる母体の病態	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	死	母体の妊娠合併症	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	産	胎盤、臍帯及び卵膜の合併症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他の分娩合併症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		胎盤又は母乳を介して受けた有害な影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		母体保護法による人工死産	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母体の病態によらないもの	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	
	病態の記載がないもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
不詳の死産		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

